

老人保健施設 やまゆりの園

入所リハビリテーション科

通所リハビリテーション科

臨床実習の手引き

学校名： _____

氏 名： _____

【はじめに】

当施設での臨床実習は「老人保健施設 やまゆりの園」での実習を主とし、併設する「御代田中央記念病院」での実習も経験してもらう事から老健と病院、双方の特徴やタイムスケジュールを明記してあります。実習責任者(以下、SV)を中心に、各症例担当指導者と共に実習中に多くの経験を出来るように配慮していきます。

【当施設について】

名称	介護老人保健施設 やまゆりの園		
位置	長野県北佐久郡御代田町御代田4107-139		
開設者	施設長 清水 一功		
管理者	施設長 清水 一功		
設置年月日	平成16年9月1日		
提供サービス	介護老人保健施設(入所)、短期入所療養介護 介護予防短期入所療養介護 通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション 訪問看護ステーション御代田		
利用定員と リハビリサービス提供日		利用定員	サービス提供日
	2F	48名	月・火・水・木・金・土
	3F	52名	月・火・水・木・金・土
	通所	30名	月・火・水・金・土

【当施設・当院のサービス詳細】

老健	<p>入所リハビリテーション：個別リハビリ、集団体操、レクリエーション、マシーンex</p> <p>通所リハビリテーション：送迎、食事、入浴、排泄、個別リハビリ、集団体操、マシーンex レクリエーション、健康チェック、生活相談</p> <p>訪問リハビリテーション：健康チェック、生活相談、機能訓練、ADL評価</p> <p>他施設リハビリテーション：特別養護老人ホーム(1回/週 金曜日)</p> <p>介護予防事業(御代田町委託事業)：1回/週 木曜日</p>
病院	<p>入院リハビリテーション：①一般病棟 廃用症候群リハビリテーション(Ⅱ)、 運動器リハビリテーション(Ⅰ) 脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅱ)</p> <p>②介護療養型病棟</p> <p>外来リハビリテーション：運動器リハビリテーション(Ⅰ) 脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅱ)</p> <p>他施設リハビリテーション：特別養護老人ホーム(1回/週 火曜日)</p> <p>特別養護老人ホーム(1回/月)</p> <p>介護予防事業(御代田町委託事業)：1回/週 日曜日</p>

【臨床実習を始める前に・・・】

当施設の実習での心得として・・・

- ① **利用者様が最優先** ⇒利用者様の不利益を生じさせない
医療従事者として責任ある行動や言動を心掛け、回復に寄与する
- ② **実習の成果(成績)は自己学習次第** ⇒課題を消化するのではなく、日々の実習前後の自己学習が重要
- ③ **体調は万全にして実習する** ⇒自身のスケジュール管理も学ぶべき課題の1つ。
睡眠不足に注意し、笑顔で元気に実習へ臨むことを心掛ける
- ④ **指導者は(学習)資源** ⇒上手く活用することで学習効果が高まる
指導者の知識や経験を自分のものにする

【当施設での実習について】

当施設での臨床実習は、医療従事者としての自覚と基本的な態度はもちろんのこと、理学療法の基本となる原理および技術を学ぶ意志を持って臨んでください。その中で、適切な治療プログラムの作成やその治療の実施まで行うことを目標とします。その他、病院・施設という組織の一員としての実務や業務管理を体験することで実習生の立場から理学療法士になる自覚を持てるように努めてください。そして、一社会人としての接遇や立ち振る舞いも学んでください。

実習の方法として「診療参加型実習(クリニカル・クラークシップ：以下、CCS)」を導入しています。CCSとは「学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら、医師としての職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を学ぶことを目的としている」(文科省 医師教育)とされており、スタッフ自らの治療場面に学生を参加させ、実際の治療場面で学生指導をしていきます。そのため、「見学」→「模倣」→「実施」と手順を踏みながら段階的に進め、実習生が臨床場面に多く接する事ができるように配慮しながら行っていきます。

また、当施設では多岐にわたりリハビリテーションを提供していますので、スタッフが行っている業務の多くに同行する事で、臨床でのスタッフの動きを経験して、今後の学びに役立ててください。

【実習中の指導者について】

- ① 実習中の指導者は養成校に届け出たスタッフとします。
- ② 老健での実習は入所・通所共に1人の指導者に学生を配置し、その指導者の下で実習を行います。
- ③ 病院での実習では、毎朝に午前と午後で担当指導者を決定し、その指導者の下で実習を行います。
- ④ リハビリテーション科全てのスタッフが学生指導をする準備をして臨んでいますので、質問などはそのスタッフでも構いませんので、気軽に聞いてください。

【実習時間について】

当院での臨床実習は基本的に「1週間で1単位：1単位＝40時間」として時間管理をしていきます。

1日8時間で出席5日/週で40時間、実習時間外学習(課題学習)は5時間/週となります。

※場合によりこの限りでない事をご了承ください。

【課題について】

- ① 実習デイリーノート(毎日提出し、指導者の確認をもらう)
- ② チェックリスト(毎日提出し、指導者と一緒に確認を行う)
- ③ 適宜、必要な課題や質問等(デイリーノート上でも構いません)
- ④ 臨床実習ポートフォリオ作成
(目標シート：実習開始前 → 中間チェックシート：実習中 → 最終チェック：実習終了時)
- ⑤ 「当施設での臨床実習を経験して」と題して最終発表会を行う予定
- ⑥ 最終日に「臨床実習を終えて」と題してレポートを自由記載で作成(A4用紙1枚)

【デイリーノートについて】

- ① デイリーノートは日々の実習記録として毎日の記入・提出をお願いします。
- ② ノートのフォーマットに関しては、養成校で指定のある場合には指定された様式で行います。
指定のない場合は当施設が指定した様式で行いません。
- ③ 記載内容は「日付」、「行動記録(午前・午後、治療現場に参加した患者数)」、「治療を通して学んだ事・印象に残っている事」、「疑問に感じた事」、「自己評価・翌日の目標」を基本とします。
- ④ 内容記載は5W1H(when：いつ、where：どこで、who：誰が、what：何を、why：なぜ、how：どのよう
に)を明確に記載しましょう。
- ⑤ ノートは実習中の理解度や疑問点などを文章にすることで視覚化し、実習生とSVの情報交換のツ
ールとしても活用します。
- ⑥ 引用文献や参考文献の記載も行ないましょう。
- ⑦ 実習中に学んだ事は今後の理学療法士となってからも貴重な経験となります。実習中に得た情報は無
駄にせず、世界にひとつしかない自分ノートを作っていきます。

※実習時間外学習(課題学習)は5時間/週としています。

デイリーノートの作成は1日約1時間程度でまとめられる量で提出してください。

※個々にメモの取り方の工夫や文章をまとめる能力などの事務的な技術向上も目指しましょう。

※内容は本人の理解度が大切で、コピー&ペーストに頼ったノートの提出を望んではいません。

※わからない事はそのまま放置せず、リストを作成することで、自分のやるべきことが明確になるこ
ともあります。ノートもメモ代わりに用いることも良いです。

※実習時間中にも時間のある時には調べ学習をするなど、時間を有効に活用してください。

【評価について】

- ・実習評価は出席数や行動、提出物の状況、実習の進行具合など総合的に判断します。
- ・実習地が行う評価は、あくまで「臨床場面に対する評価」であり、養成校の単位修得に関しては養成校
側の判断に委ねています。
- ・実習の進行状況によっては、養成校側と相談・協議の上、途中での実習中止の判断を下す場合がありま
す。

【緊急時の対応について】

- ・施設内での緊急時の場合：①施設内放送や職員の指示に従って速やかに行動してください。
②緊急時の発見者等が学生当事者の場合は近くにいる職員や実習指導者に速やかに報告して指示を仰いでください。
- ・施設外での緊急時の場合：①自分の身の安全を第一に考え行動してください。
②事態が落ち着き、連絡できるようになったら、S V (不通の場合は当施設リハビリテーション科)へ連絡をして指示を仰いでください。
③必要に応じて養成校側への連絡も行ってください。

【ハラスメントについて】

- ・実習生は、ハラスメントを感じた場合は速やかにSVや養成校の教員に相談してください。
- ・実習指導に携わるスタッフは、ハラスメント防止に関する教育を受けています。ハラスメントや差別的な言動・行動は厳に慎むように心掛けます。
- ・実習施設職員と実習生が双方に、快く臨床実習が進められる環境作りを念頭に置いて行動します。

【欠席・遅刻・早退について】

- ① 病気やその他、やむを得ない事情のために欠席、遅刻、早退などをする場合には、業務開始時間(8:30)までにS V (不通の場合は当施設リハビリテーション科)に電話での連絡の上、理由を説明し、了解を得てください。
- ② 欠席の場合は、当日中に養成校側に学生本人から電話にて報告してください。
(連絡手段が養成校にて決まっている場合には養成校側の指定の方法で)
- ③ 病欠の場合には、病院(当院外も可)を受診して診断書をもらってきてください。場合によっては開示を求められることがありますので、ご了承ください。
- ④ 予めやむを得ない事情にて欠席することがわかっている場合には、日時と理由を速やかにS Vと養成校側に連絡・報告してください。
- ⑤ その他、欠席・遅刻・早退した際に養成校側が指定する書面等がありましたら記入をして、S Vへの提出をお願いします。

【感染症対策について】

- ① 実習生は日頃から自身の体調管理を怠らないようにお願いします。
- ② スタンダードプリコーション(標準予防策)を理解し、実習に臨んでください。
- ③ 手洗いは「1リハ1手洗い」及び「リハ前後の手洗い」を基本とし、「石鹸と流水による手洗い」を徹底してください。
- ④ 感染拡大防止の観点から、日常の観察として利用者様や患者様の健康状態を注意深く観察し以下の症状が認められる場合にも速やかにS Vへ連絡をしてください。
1) 発熱・熱感 2) 嘔吐・下痢 3) 咳、咽頭痛・鼻水 4) 発疹(皮膚の異常)
- ⑤ 実習生自身に感染の疑いがある場合には、速やかにS V (不通の場合はやまゆりの園の生活リハ科もしくは通所リハ科)へ連絡をして指示を仰いでください。

【個人情報の取り扱いについて】

- ① 実習中に知り得た情報の全ては守秘義務がありますので遵守し、個人情報の取り扱いには十分注意してください。
- ② 個人情報の具体的な運用については、SVに指示を仰ぎ、その指示に従ってください。
その他、不明な点は全てSVに確認してください。
- ③ 実習終了後も知り得た情報の全ては守秘義務と個人情報の保護義務があります。
- ④ カルテの情報(疾患名、検査画像・結果等)を確認する場合には、必ずSVと各スタッフに理由と用途を明言した上で、情報収集を行うようにお願いします。
- ⑤ メモ・下書きなどを含む個人情報が記載された文章等を破棄する時は、シュレッダー等を用いて情報漏洩防止に努めてください。

【実習中タイムスケジュール】 ※適宜、スケジュールの変更あり
※参考のため病院のタイムスケジュールを記載しております

【老健】	【病院】
8:10 までに集合 ⇒準備	8:10 までにリハビリ室へ集合 ⇒準備
8:25 ～ 朝礼	8:25 ～ 朝礼
8:30 ～ 12:00 ミーティング ⇒実習開始 本日の目標・課題の確認	8:30 ～ 12:00 ミーティング ⇒実習開始 本日の目標・課題の確認
12:00 ～ 12:30 自主学习、午前中のまとめ	12:00 ～ 12:30 自主学习、午前中のまとめ
12:30 ～ 13:30 昼休み(原則として施設内)	12:30 ～ 13:30 昼休み(原則として院内)
13:30 ～ 17:00 自主学习、午後の日程確認 実習	13:30 ～ 17:00 自主学习、午後の日程確認 実習
17:00 ～ 17:30 まとめ、課題等の確認 フィードバック	17:00 ～ 17:30 まとめ、課題等の確認 フィードバック
17:30 帰宅	17:30 帰宅

【初日チェックリスト】

- 下駄箱・更衣室(ロッカー)案内
- 朝礼にて紹介・挨拶
- 科内ミーティング挨拶
- 当施設リハビリテーション科の「臨床実習の手引き」に基づいた説明
- 関係書類記入(評価票記名、誓約書記入等)
- 緊急連絡先の確認 (老健：0267-31-2131 SV連絡先：_____)
- 施設・病院内案内、関係部署挨拶回り
- リハビリ室内説明
- 質疑応答

【メモ】

作成日：2020年 4月 1日
更新日：2020年 5月 1日

目標シート

(記入日：)

学校名： _____

氏名： _____

今回の実習における目標

具体的な行動目標

中間チェックシート

(記入日：)

学校名： _____

氏名： _____

①：達成された目標

②：改善すべき点

③：自己評価・感想

⑤ 今後、学びたい内容(目標)

最終チェック(成長確認)シート

(記入日：)

学校名： _____

氏名： _____

今回の実習を通じて獲得できた知識や技術、気付いたことを列挙してください